



広報

Nakadomari PR Magazine

なかどまり

9月

SEP 2014 No.114

こどもり太刀振り

なかどまりまつり



【スポットライト】

健やか野球大会  
駅ナカ夏まつり

【まちの話題】

とうふづくり体験  
活ハマクラブ漁業体験  
畑の学校収穫体験

【お知らせ】

敬老会バス送迎時間  
映画会のお知らせ  
狂犬病予防注射



海上相撲大会



なにもささ流し踊り



# 2014 なかどまりまつり

■8月10～11日 中里地区  
■8月14～15日 小泊下前地区



14日からは、小泊・下前地区が開会、海上パレード、ねぶた運行、太刀振り、流し踊り、船ごぎレース、海上相撲、カラオケ大会などが行われました。  
2日目の下前地区では、小泊保育所の遊戯が大人気となり、会場からアンコールがでるなど盛り上がりがありました。  
台風や大雨の影響で中止する催しもありましたが、町最大イベントには、今年も帰省した家族連れなど多くの来場者が集まり、にぎわいをみせていました。

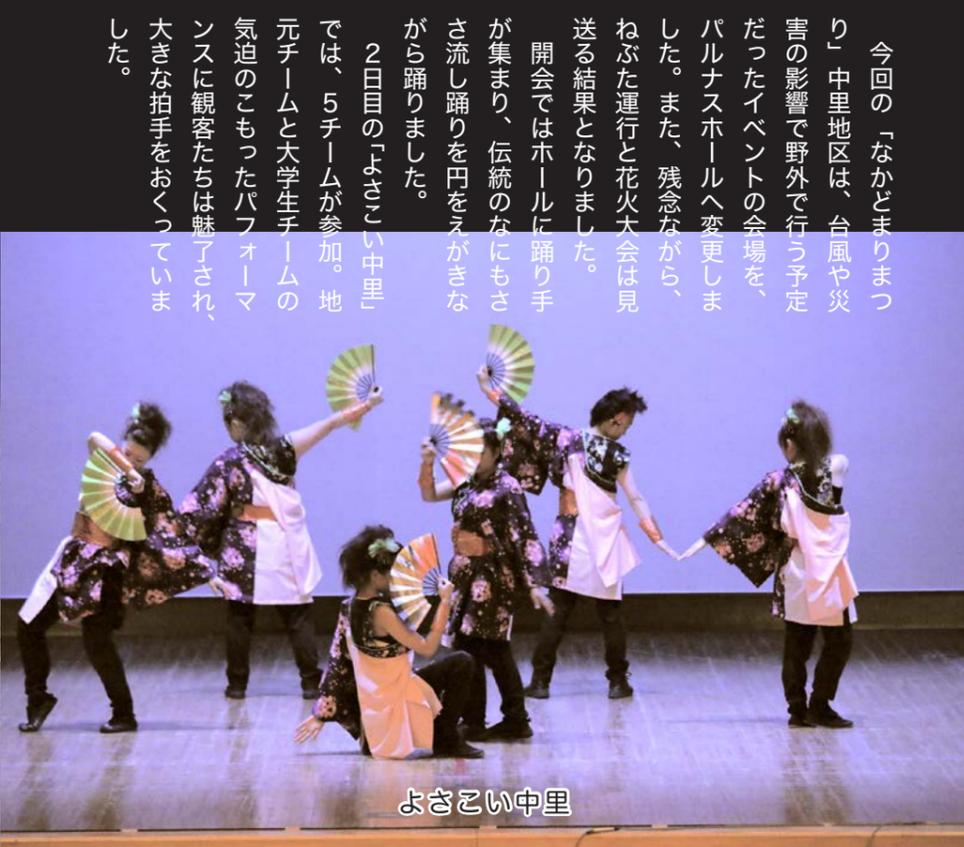


海上パレード



よさこい中里

今回の「なかどまりまつり」中里地区は、台風や災害の影響で野外で行う予定だったイベントの会場を、パルナスホールへ変更しました。また、残念ながら、ねぶた運行と花火大会は見送る結果となりました。  
開会ではホールに踊り手が集まり、伝統のなにもさ流し踊りを円をえがきながら踊りました。  
2日目の「よさこい中里」では、5チームが参加。地元チームと大学生チームの気迫のこもったパフォーマンスに観客たちは魅了され、大きな拍手をおくっていました。



よさこい中里





白岩 貢 氏

### ■心感イベント②

#### 「徐福交流津軽半島音楽祭」

徐福が伝えたであろう「音楽」が時を越え、現代人の心を癒すクラシック音楽祭を地域に関わる人たちの力で開催。オープニングは、こどもり権現太鼓が務め、小野町長のあいさつに続いて、金木・中里中学校による吹奏楽演奏、地元下前地区出身の青森大学准教授である白岩貢氏のコンサートを行い、参加者たちは手拍子と一緒に歌うなど音楽祭を楽しんでいました。



金木中学校

### ■体感イベント

#### 「徐福伝説右檣船漕ぎ競争」

中国は右檣。日本では左の檣漕ぎ船が主流ですが、有明海の一部と下前地区のみ右檣が使われています。このことから徐福が伝えたともいわれています。

2人1組で杖をもった徐福と船頭に見立てて、100mのコースを檣で漕ぐレース。男女8チームが参加し、腕を競い合いました。地元漁師が実力を見せつけ、優勝しました。



船漕ぎ競争男子の部



こどもり権現太鼓



中里中学校



船漕ぎ競争女子の部



網おこし



小泊婦人会



スコップ三味線

## ～心感・食感・体感イベント～ 伝説の長寿食と未来へつなぐ交流ロマン

# 中泊徐福まつり

昨年初開催した「中泊徐福まつり」、今年も心感・食感・体感イベントを中心に、8月24日(日)下前徐福公園で開催されました。

### ■心感イベント①

#### 「徐福フォーラム」

～講演と郷土芸能発表～

網おこし保存会によるはやし、下前婦人会の徐福音頭、小泊婦人会による小泊音頭、中里三味線会の曲弾きや民謡、「謎の美女軍団」によるスコップ三味線、健康ダンス「ベえ子ちゃん」がダンスを披露しました。

続いて「未来へつなぐ中泊徐福学」と題し、歴史を語る会会長で徐福研究家である柳澤良知氏が基調講演を行いました。近年の研究では、徐福が日本海産のアワビを求めてきたのでは、という説もあるそうです。

続いてパネルトークでは、柳澤氏に加え、地元下前婦人会・長内会長と小泊に在住経験のある健康ダンス「ベえ子ちゃん」鈴木代表が参加。徐福への思いやPR方法などについて話しました。

### ■食感イベント

#### 「海山食感グルメ」

徐福が伝えた「食」をキーワードに町のグルメを選びすぎり、「旨いもの」コンテストを行いました。8団体が参加し、それぞれ地元産物を活用したメニューを来場者が試食。おいしいと思う団体にそれぞれ使った割箸で投票しました。限定200食の試食品は、予定時間を待たずに品切れとなる人気ぶりでした。

- 小泊VICウーマン…イカカレーライス
- 津鉄応援直売会…ミニトマトのコンポート、コーンの天ぷら
- 下前婦人会即漁協婦人部…イカめし
- 徐福の里物産直売所…エビカツバーガー
- こどもり道の駅「ポントマリ」…海峡ドック
- 小泊観光協会…本マグロ鉄火丼
- 小泊漁協婦人部…海鮮お好み焼き
- 小泊婦人会…徐福汁



下前婦人会



柳澤良知 氏



パネルトーク



健康ダンス「ベえ子ちゃん」



割り箸配布に長蛇の列



食感グルメを堪能



各店舗に行列



割り箸で投票



優勝した徐福汁

### 広告



## 中泊町沿岸訓練実施隊 油除去訓練を実施します!

第1回目 日時 平成26年9月12日(金) 13:30～  
場所 小泊漁港内

第2回目 日時 平成26年9月26日(金) 13:30～  
場所 下前漁港内

お問合せ 実施隊事務局 64-2641

## 流域水田など大きな被害

宮野沢川の堤防が決壊

8月5日(火)からの断続的な大雨により、6日(水)朝方には当町をはじめ津軽地方で冠水や浸水の被害を受けました。

宮野沢地区を流れる宮野沢川の堤防が決壊し、家屋の浸水や道路の冠水、水田には土砂や流木が堆積するなどの大きな被害を受けました。

さらに、トマトのハウスや大豆畑も冠水するなど収穫できなくなる被害を受けました。

8月12日(火)には水田の被害状況を確認するため、農家のみなさんと協力し、町職員が水田の土砂やごみの堆積などを調査しました。

立ち会った農家のみなさんは「今年は自分の水田はもうダメ。こんな被害は初めてだ。毎年こういうことが起きる可能性もある。早期に対策が必要だ」と話していました。



中里中学校のまわりも冠水



砂や流木が堆積した水田

## みんなでラッセラー

中里子育て支援センターで鑑賞会

中里子育て支援センターが、8月5日(火)中里保育所で、中里横笛愛好会(会長・工藤強志)のメンバー9人を招き、はやしなどの鑑賞会を行いました。

この日は、支援センターを利用する5家族と同保育所児童、グループホームさくらの利用者が参加しました。

鑑賞会では、地域に伝わるはやしをはじめ、参加している五所川原立佞武多や青森ねぶたのはやしなどが披露され、手拍子をするなど楽しみました。なかでも青森ねぶたでは、参加者全員がハネトになって声を合わせて踊り、アンコールがかかるほど盛り上がりました。横笛愛好会の小田原さんが「小学生になったら、笛、鉦(かね)や太鼓をやってみたいですか」と聞くとみなさん勢いよく「はい！」と手を上げて返事をしていました。



披露され、手拍子をするなど楽しみました。なかでも青森ねぶたでは、参加者全員がハネトになって声を合わせて踊り、アンコールがかかるほど盛り上がりました。横笛愛好会の小田原さんが「小学生になったら、笛、鉦(かね)や太鼓をやってみたいですか」と聞くとみなさん勢いよく「はい！」と手を上げて返事をしていました。

## 恒例の盆踊りでにぎわい

下豊岡地区常会が盆踊り大会を開催

下豊岡地区常会が8月16日(土)恒例の盆踊りを開催し、地域の子どもたちや高齢者、お盆休みの帰省者などが参加し、にぎわいをみせました。

お盆の時期に死者を供養するためと地域・世代間の交流を目的に行われているこの地区の盆踊り大会は、夕方に始まり、鶴寿荘前に地元宝富士閣を応援するのぼりを中心に立てられたやぐらを回りながら、音頭にあわせて踊っていました。

参加者たちは「毎年参加している、これをやらないと盆は越せないよ。いよいよ秋がくると感じる。地区のいい交流の場となっている」などと話していました。



健闘した小泊中

「若い芽を健やかに伸ばそう」を大会スローガンに、7月28日(月)・29日(火)の2日間小泊ふれあい運動場で、第10回中泊町健やか少年野球大会が行われました。

大会には、小学校の部6チーム(武田クラブ、嘉瀬クラブ、中里北光クラブ、金木クラブ、栄クラブ、小泊イカズ)、中学校の部4チーム(中里中、市浦中、金木中、小泊中)が参加しました。

2日間とも晴天に恵まれ、球児たちは日頃の練習の成果を発揮しようと試合に臨みました。

小学校の部は、栄クラブが昨年の優勝チーム武田クラブに勝ち、優勝しました。中学生の部も、前年度と同じカードとなり、金木中が昨年優勝の中里中にリベンジし、優勝しました。今年の試合は地元チームも健闘し、あと一步という試合が多い大会となりました。



中里中、決勝での攻撃

スポット  
-Spotlight-  
ライト

## 地元勢あと一步

第10回中泊町  
健やか少年野球大会

## 海峡イカ丼振る舞い

駅ナカにぎわい  
空間で夏まつり

まちの「にぎわい」を発信する「駅ナカ夏まつり」が、7月27日(日)駅ナカにぎわい空間で行われました。

今年は、なかどまりイカ三昧フェスタとして、先着100人に海峡イカ丼の振る舞い、道の駅こどもりで販売する「海峡ドック」と「五農ヤキソバ」の特別セットの販売、手づくりとろてん、サザエのつかみ取り体験など新しい催しを開催。即完



売となる人気ぶりでした。海峡イカ丼の振る舞いでは、バスツアーの観光客も加わり「美味しかった。新鮮なものは違うね」と味わっていました。

また、中里横笛愛好会、スコップ三味線「謎の美女軍団」、健康ダンス「べえ子ちゃん」、中里三味線会、瓜田益子さんがそれぞれ、ステージで演奏やダンス、歌謡ショーでイベントを盛り上げました。



海峡イカ丼の振る舞い

# オリジナルとうふに挑戦

## 夏休み親子とうふづくり教室

中泊町産の大豆を使用したとうふづくり体験が、7月27日(日)ピュアとうふ加工所で行われました。体験には6組の親子が参加し、エプロンや三角巾をまとった子どもたちが、オリジナルとうふづくりに挑戦しました。

ピュアでとうふを加工販売しているピュア出荷者協議会の木村てつさんが指導しました。はじめに原料の大豆の勉強からスタートし、大豆の栄養分やとうふ以外の加工方法などを学びました。いよいよとうふづくり。手順に従ってアドバイスを受けながら慎重に作業しました。できあがったとうふは、子どもたちそれぞれの名前入りのパッケージに入れ、世界に1つだけのとうふをつくることができました。最後は、そのとうふに値段をつけるならいくらにしますか?という質問に子どもたちは悩んでいました。ピュアの加工施設では、専用機械を使ってパンづくりやお菓子づくり体験を計画しているそうです。



# 中体連県大会を制す

## 中里中女子ソフトテニス部らが町長を訪問

中里中女子ソフトテニス部が、7月20日(日)・21日(月)八戸市で行われた第65回青森県中学校体育大会夏季大会で見事団体優勝(2年ぶり4回目)しました。

団体メンバー8人(2年生-中村唯・木村真琳・珍田未来・岩田菜月・福土碧・岩田優花、1年生-長利実菜・葛西美紀)が7月31日(日)に役場を訪れ、小野町長に報告をしました。

さらに、個人ダブルスでも中村・木村ペアが優勝、珍田・岩田(菜)ペアも3位に入る健闘をみせました。

選手たちは「次回も優勝し2連覇できるよこれからも頑張りたい」と抱負を述べました。町長から「皆さんよく頑張りました。団体で優勝は難しいこと、素晴らしい成績です。皆さんはまだ2年生、来年も楽しみにしています」と激励しました。女子テニス部は東北中学校ソフトテニス大会に出場し、全国を目指します。

一方この報告会には男子が1人いました。水泳競技で標準記録を突破し、全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(東京)へ出場が決まった小山内元気くん(1年)です。1年生ながら3年生を上回るタイムを出したそうです。「初めての全国大会ですが、自己ベストを出して上位を目指したい」と意気込みを伝えました。



# メバル漁網はずし体験

## 活ハマクラブがモデルツアー開催

中泊町活ハマクラブ(代表・小林寿伸)が、7月19(土)、22日(火)の2日間、この時期行われているメバル刺し網漁の網はずしや、のしイカづくり体験をするモデルツアーを開催しました。体験には、津軽鉄道利用者や中里地区、地元小泊地区から親子連れなど20人が参加しました。19日は、小泊漁協の施設である荷さばき場を見学、採れたてのメバルなどの魚類、生きたアワビやサザエの紹介を受けました。次に製氷庫へ移動し、真冬でもなかなかない、マイナス10度の世界を巨大冷凍庫に入って寒さを体験しました。ここには箱詰めするとき使用する氷が山積みされています。この日は天候不良でメバル漁の出漁がなく、小泊漁協婦人部の指導によるのしイカづくりを体験し、スルメをのばす作業や袋詰め作業を行いました。最後は、メバルの刺身・塩焼き・フライ、イカリングなどを試食しました。22日は、19日にできなかったメバルの網はずし作業。子どもたちは、漁師さんの説明を受けたあと、ていねいに外していました。



# 東北大会2位の健闘

## 小泊中鈴木悠太くんが報告

福島県郡山市で行われた第35回東北中学校陸上競技大会の男子中学共通四種競技(ハードル・砲丸投げ・走り高跳び・400m)で、小泊中学校陸上部の鈴木悠太くんが2位の健闘をみせました。

8月18日(月)に町役場を訪問し、小野町長に結果を報告しました。町長は「四種類もこなし、素晴らしい結果だ。これからももっと上をめざして頑張ってください」と激励しました。鈴木くんも「次はジュニアオリンピック予選があるが、今度は円盤投げで全国大会を目指します。次も報告に来たいです」と目標を伝えました。



### 広告

山哲子	荒関博	真治之	大川賢一	長利純也	加藤孝典	工藤優太	坂田真也	菅原光徳	外崎妙子	子長川	長谷川	松田耕也	宮越裕	子広											
赤石みず	赤石あず	秋元あず	秋元周	秋元正	阿部弘喜	阿部雅人	阿部真大	阿部祐大	荒木あつ	荒関イ	山哲子	荒関博	真治之	大川賢一	長利純也	加藤孝典	工藤優太	坂田真也	菅原光徳	外崎妙子	子長川	長谷川	松田耕也	宮越裕	子広
赤石みず	赤石あず	秋元あず	秋元周	秋元正	阿部弘喜	阿部雅人	阿部真大	阿部祐大	荒木あつ	荒関イ	山哲子	荒関博	真治之	大川賢一	長利純也	加藤孝典	工藤優太	坂田真也	菅原光徳	外崎妙子	子長川	長谷川	松田耕也	宮越裕	子広

南ア	青北	青森	ask	荒関	荒関	荒関	石田	いな	瓜	竹内	大川	工	業	寿	小泊	堂	ダイ	川	な	な	ふ	う	や	さ	と	ら
南ア	青北	青森	ask	荒関	荒関	荒関	石田	いな	瓜	竹内	大川	工	業	寿	小泊	堂	ダイ	川	な	な	ふ	う	や	さ	と	ら

### 広告

# 第10回なかどまりまつりファイナーレ花火にご協賛いただきました皆様へ

第10回なかどまりまつりファイナーレ花火大会につきましては、平素より多大なるご支援ご協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

八月十一日に予定しておりました花火大会(中里地区)ですが、大雨・台風の影響に伴う川の増水による災害、打上場所の確保並びに諸般の事情等、安全を最優先に考え中止の決定がなされました。

皆様から頂きました協賛金は、一部を小泊地区の花火に使用致しました。また、来年は中泊町合併10周年を祝う記念すべきまつりとなります。そのため盛大な花火大会となるよう有効活用させて頂きたいと思っておりますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

楽しみにしておられました方々、御協賛頂きました皆様方には、心よりお詫び申し上げます。ご協賛いただきました皆様方の御芳名を、再度左記に記載致しました。

今後共変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、重ねて感謝申し上げますと共に、書面をもってお詫びの挨拶とさせていただきます。

みんなでつくるべしプロジェクト

1口500円から協賛金随時募集！！  
『みんなでつくるべしプロジェクト』事務局

〒037-0309  
中泊町大字八幡字日向334 中泊町農村活性化施設 (株)アクトプラン内  
TEL: 0173-57-5720 / FAX: 0173-57-5721

## オリンピック選手を目標に

全国B&Gジュニア水泳大会で奈良くん入賞

全 国ジュニア水泳大会青森県予選会が、6月29日(日)ゆうえい館(平川市碓ヶ関)で開かれました。町B&G海洋センターの代表として参加した奈良佳輝くん(中里小)が見事に全国大会への標準記録を突破しました。

8月2日(土)に行われた全国大会では、奈良くんは青森県代表としてメドレーリレーとフリーリレーの選手としても出場しました。

個人では3・4年生男子50メートル背泳ぎ・自由形に出場し見事に予選を通過しました。決勝では予選の記録を上回る泳ぎで、背泳ぎでは5位、自由形では6位と入賞を果たしました。

8月22日(金)に小野町長を訪問した奈良くんは「将来はオリンピック選手が目標です、来年も全国大会にでる」と意気込んでいました。



## 漁獲の安定を図る

ヒラメの稚魚放流

小 泊・下前両漁協で、8月22日(金)今年もヒラメの稚魚を放流しました。毎年、県の魚でもあるヒラメの漁獲量の安定を目的に青森県栽培漁業振興協会が行っているもので、小泊地区で2万5千匹、下前地区で1万5千匹の稚魚を放流しました。

このうち小泊地区の放流では、体長5cmほどに成長したヒラメの稚魚をビーチサッカーが行われる折腰内海岸の沖合に放流しました。稚魚は元気よく砂場のある海底に向かって泳いでいきました。

放流した漁協関係者は「大きく育てて欲しい、今後の漁獲量の安定を期待したい」と話していました。



## 農業体験と若手農家との意見交換

東大生が体験活動プログラムで当町を訪問

東 京大学が行う体験活動プログラム(次世代を担う学生を「よりタフに、よりグローバルに」育成するため、学生にさまざまな体験活動の機会を提供する)の一環で、8月25日(月)当町の(有)武田開発(代表・塚本茂)の大豆畑を学生が訪れ、農業体験を行いました。

学生たちは大豆畑の雑草を「腰がきついですね」といいながら、鎌でいねいに刈り取っていました。

今回の体験は、プログラム受入先の深浦町の農家・新岡さんから、親交のある塚本さんに依頼があり、受け入れられました。農業体験の前日には、町の若手農家も参加した交流会を開きました。

学生たちは「地方の人たちの生活や農業や漁業体験などを通して、自分たちの視野を広げていきたい」と話していました。



## いっぱい採れました

ブルーベリー摘み取り体験

中 里幼稚園・薄市保育所・富野保育所の子どもたちや先生合わせて約60人が、7月29日(火)ピュアのブルーベリー畑で、摘み取り体験を行いました。

子どもたちは、暑い中水分を補給しながら、約1時間ほど摘み取りや試食をしていました。最後は、この日のお礼にピュアスタッフへ歌とダンス2曲を披露しました。

体験を終え、子どもたちは「あまくておいしかった。パパママにお土産にする。実が大きくてびっくり。いっぱい採れてうれしい」と感想を話していました。スタッフからは「元気をもらいました。一緒に楽しませてもらいました」と声を掛けました。摘み取り中、子どもたちは元気に畑を走り回ったり、木の陰に隠れてもくもくと食べている子がいてスタッフを笑わせていました。



## 昔のあそびを伝える

下前でリターンワールド

下 前地区の3つの母親クラブが、7月27日(日)すくすくしたまえ館で、リターンワールドを行いました。

このイベントは、母親クラブのみなさんが体験した、昔の遊びなどを子どもたちに伝えようと、毎年開催しています。この日は、地域の子どもたちとその保護者、クラブのみなさん約40人が参加し、ヨーヨーづくりなどを楽しみました。最後は、昼食でカレーやフルーツを食べながら、昔の話をするなど世代を越えて交流しました。



## じゃがいも収穫体験

畑の学校に中里保・小泊保が参加

畑 の学校(校長・田中恵津子)が行う、収穫作業を体験するため、8月4日(月)、大沢内にある田中校長の畑を保育園児が訪れました。体験には、中里保育所、小泊保育所から26人の子どもたちが参加。春に植えて大きく育ったじゃがいもを掘り起こしました。この日は気温も高く暑い日となりましたが、もくもくと収穫作業を行いました。収穫したいもを手を持ちながら、「大きないもがとれた。おいしそう。ママが喜ぶ」などと感想を話していました。掘りたいもは、それぞれ持ち帰り、料理してもらおうです。



## 収穫と交流

豊島地区の保全隊と共にじゃがいも収穫

地 域の手で農地の環境を維持するための組織「保全隊」。豊島地区の保全隊では、その事業の一環として今年春、子どもたちと一緒にじゃがいもを畑に植え、8月3日(日)にその収穫を行いました。この事業は、地域の子どもたちと高齢者の交流を図ろうと行われているものです。同保全隊の松田安喜夫会長の畑約100坪に植えたじゃがいもを、この日集まった20人の子どもたちと、保全隊や高齢者たちが一緒に収穫しました。今年は雨不足が影響してか小粒なものが多かったですが、それでも多くのじゃがいもが現れ、暑い中で子どもたちがはしゃぎながら収穫していました。じゃがいもは、それぞれ持ち帰ったほか、集会所でじゃがバターや豚汁にしてふるまわれ、世代間の交流が図られていました。



### 8月6日の大雨により被災された人に対する県税の減免措置等について

☎ 西北地域県民局県税部 ☎ 34-2111

県では、8月6日の大雨により被害を受けた人が、県税の減免や申告、申請、請求その他書類の提出または納付の期限の延長および県税の徴収を猶予できる制度があります。  
※詳しくは、問合せ先へ。

### 労働相談会を利用しませんか

☎ 青森県労働委員会事務局 ☎ 017-734-9832

- 個々の労働者と事業主との間に生じたトラブルについて労働委員会委員が相談に応じます。公益委員(弁護士など)、労働者委員(労働組合役員など)、使用者委員(会社経営者など)
- 労働者、事業主どちらの相談も受けております
- 労働者・事業主の紛争解決を図るための「個別あっせん」も行っています
- 相談方法…委員による面談
- 日時・場所  
10月6日(月) 午後1時30分～4時 弘前文化センター2階  
10月7日(火) 午後1時30分～4時 アスパム5階  
※事前予約も受け付けています。希望される場合は問合せ先へ。

### 第7回ふるさとあおもり景観賞応募受付中

あなた自慢のふるさと風景をお送りください

- 募集期間…平成27年1月31日(土)まで
- 最優秀賞…クオカード5千円分を贈呈します。

\*詳しくは「第7回ふるさとあおもり景観賞募集チラシ」をご覧ください。  
\*募集チラシは、役場総務課企画係に置いてあります。

心配ごと相談 町社会福祉協議会	
中里地域	小泊地域
9月24日 竹内 恭一 荒関 徳勝	9月17日 長内 エツ子 秋田谷 徳美
10月8日 葛西 嘉四次 秋元 武弘	10月15日 藪田 由比子 秋田谷 徳美
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時～午後2時	相談場所 日本海漁火センター 相談時間 午前9時～午後2時

### なんでも行政相談

日時…9月16日(火) 午前9時～12時  
場所…中央公民館  
行政相談委員…秋元武弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

## 2015年版 青森県民手帳

青森県の知りたいデータがすぐわかる!

予約受付中 10月発売予定

500円(税込)

3種のダイアリー  
年間・10日・1週間タイプ  
月間・年度末の予定まで書き込めるポックスタイプ  
週間・過去5年の天気つき

青森の名所がひと目でわかる  
青森県の観光名所をかわいいイラストにした「AOMORIイラストマップ」と、出張の心強いお供「東京都周辺地下鉄路線図」はカラーで収録

選べる5色のカバー  
今年も、青森県をイメージする5色のカバーを採用!  
よく使うものだからきれいな色を選びました。  
※内容は全て同じです。

青森県ってどんな県?  
都道府県・市町村の各種統計はもたらん、青森県の日本一がわかる「ふるさとピカイチデータ」も掲載!市町村の紹介記事も気合入っています!

ちょっと困った時に!  
さっと開くだけで、知りたい情報がすぐわかる!  
各種暮らしの相談窓口・県内のイベントカレンダー・道の駅マップ 等々...

■規格  
サイズ 150mm×85mm  
ページ 本体166ページ  
別冊80ページ  
カバー 全5色  
価格 500円(税込)

■お問い合わせ先  
中泊町役場 総務課企画係  
電話: 57-2111 (内線162)

■申し込み締め切り  
平成26年 10月10日(金)

■編集 青森県企画政策部統計分析課 ■発行 青森県統計協会  
※「青森県民手帳」の収益は、統計グラフコンクールの際に統計功労者の表彰等、統計恩恵の普及啓発に使われております。画像はイメージです。色やデザインは実物とは若干異なる場合があります。

### 浄化槽を正しく使いましょう

☎ 弘前環境管理事務所 ☎ 0172-31-1900

浄化槽は微生物の働きを利用して汚水を浄化するため、適正な管理が必要です。そのため、浄化槽法では、①定期的な保守点検、②年1回の清掃、③法定検査の受検(使用開始後及び年1回)が義務づけられています。

法定検査は、浄化槽が適正に維持管理され、本来の浄化機能が発揮されているか判定するもので、一般社団法人青森県浄化槽検査センターが行います。また、浄化槽の使用開始時や廃止時、所有者の変更時などには、弘前環境管理事務所への届出などが必要です。

中泊町役場 ☎57-2111  
小泊支所 ☎64-2111

## 町からのお知らせ

問 問合せ先 内 内線番号  
☎ 電話番号 HP ホームページ

### 9月15日 敬老会送迎バス 小泊地域から運行します

☎ 役場福祉課福祉推進係 内 122

出発時刻は次のとおりです。どうぞご利用ください。

9月15日(月)

小泊老人憩いの家	8:15
→小泊漁協前	8:25
→下前上バス停前	8:40
→下前漁協前	8:45
→折戸バイパス停留所	8:55
→町体育センター着	9:35

帰りは、午後2時の予定です。

## 人生、いろどり

吉行和子・宮司純子・中尾ミエ  
平岡祐太 村川絵梨 戸次重幸 中村錦之助 大杉漣 藤田まこと 藤岡まこと 藤岡たか子 藤岡たか子 藤岡たか子 藤岡たか子

葉っぱを売って年商2億円—  
四国いち小さな町で起こった<奇跡>の実話

教育委員会では、文化の日下記のとおり町民映画会を開催します。ご近所お誘いあわせのうえ鑑賞ください。

- 日時…11月3日(文化の日)
- 場所…総合文化センターパルナスホール
- 上映作品…人生、いろどり
- チケット…前売券500円(当日800円)

※チケットは町役場総務課・小泊支所・パルナスで販売。  
■問合せ…教育委員会教育課社会教育係 ☎69-1112 内13

### 平成26年度下半期 犬の登録と狂犬病予防注射

☎ 役場環境整備課衛生係 内 234  
☎ 小泊支所 ☎ (64)2111

下半期の犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。まだ登録及び注射をしていない犬の飼い主は、都合のよい場所で受けてください。

すでに犬の登録をしていますが、まだ狂犬病予防注射を受けていない場合は、ハガキで通知します。

○登録料(新規)…1頭につき3,000円(一生に1度限り)  
○注射料…1頭につき3,100円(年1回接種)

■日程

月日	地域	実施場所	実施時間
9月28日(日)	中里地域	町役場前	8:40~8:50
		福祉センター前	8:55~9:05
		宮野沢研修センター前	9:10~9:20
		深郷田深寿荘前	9:25~9:35
		大沢内克雪センター前	9:40~9:50
		豊島農村婦人の家前	9:55~10:05
		武田公民館前	10:10~10:20
		田茂木防災センター前	10:25~10:35
		豊岡和栄会館前	10:40~10:50
		尾別老人憩いの家前	10:55~11:05
		グループホームやすらぎの里前	11:10~11:20
		元武田協和分校前	11:25~11:35
		若宮保健福祉館前	11:40~11:50
		内湯公民館前	11:55~12:05
今泉泉寿荘前	12:10~12:20		
小泊地域	小泊保健センター前	13:30~13:45	
	新町1久保田敏則宅前	13:50~14:00	
	上町角田石油店横	14:10~14:15	
	小泊支所前	14:20~14:35	
		下前漁協前	14:50~15:05

\*都合により実施場所へ来られない人は、内容によっては出張に応じることも可能です。役場環境整備課または小泊支所へご連絡ください。

## 9月30日は

### 固定資産税 3期

### 国民健康保険税 3期

の納期限です。  
忘れずに納めましょう。

※口座振替をされている人の引き落とし日は9月25日(木)です。残高をご確認ください。

☎ 役場総務課課税係  
1445146

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS SEP 2014.

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS SEP 2014.

### 図書館情報

#### 今月のMiniコレクション

○テーマ「もっと楽しむ! 映画・ドラマの原作本!」  
映像とは一味違った世界観に出会えること必須です。

#### 新刊情報

- 『破門』 黒川 博行 KADOKAWA
- 『増悪のパレード』 石田 衣良 文藝春秋
- 『男ともだち』 千早 茜 文藝春秋
- 『マダム・キュリーと朝食を』 小林エリカ 集英社
- 『世界一美しい食べ方のマナー』 小倉 朋子 高橋書店

#### こんにちは! 食生活改善推進委員会です

～なつかしい!おいしい! 青森の郷土料理～ “かぼちゃのおやき”

#### 【材料】5～6個分

- かぼちゃ…1/4個(約300g)
- 片栗粉…100g サラダ油…適量
- 〈A〉 砂糖…大さじ2、しょうゆ…大さじ1



#### 【作り方】

- ①かぼちゃを4～5cmくらいの乱切りにし、かぶるくらいの水を入れ、中火で煮る。沸騰したら〈A〉を入れる。
- ②かぼちゃに箸が通るくらいのを柔らかさになったら、しゃもじなどでつぶしながら水分を飛ばし、火を止める。
- ③粗熱が取れたら片栗粉を入れ、手でこねて、耳たぶくらいの固さにし、丸めて、油をひいたフライパンを弱火にし両面をじっくり焼く。

■青森には、おいしい郷土料理がたくさんあります。中でもかぼちゃもち、おいしいのはもちろん、手軽で簡単にできます。ビタミンや食物繊維、たんぱく質、鉄分など栄養価もある手作りおやつです。作ってみてはいかがでしょうか?

### 高齢者ボランティアに参加しませんか

☎ 役場町民課国民健康保険係 ☎ 132

65歳以上で介護保険を利用していない人ならどなたでも参加できますので、気軽にご利用ください。この事業は2月まで計画しています。今回は10月の予定をお知らせします。

- 派立上 10/1(水) 10:00～12:00 駅ナカにぎわい空間
- 派立中 10/2(木) 13:00～15:30 やまびこ会館
- 小泊 10/10(金) 13:00～15:30 日本海漁火センター

### 笑顔で介護予防! 「めめしい教室」開催中

☎ 地域包括支援センター ☎ 57-3601

地域包括支援センターでは、元気でいきいき活動的な生活を送るための応援をしています。今年度も中里地域・小泊地域で教室を開催し、自分なりのペースで仲間と歩む健康づくりを目指しています。また、介護予防のほか「認知症」「介護保険」「権利擁護」などをテーマに地域に出向く『出前講座』も行っています。



### 宝くじの助成金で整備

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を利用し、申請のあった中里横笛愛好会に対して、太鼓とその台車、半てん、音響設備1式の購入費用を助成しました。今後は、まつりや施設の慰問など活動に役立てられます。



### 静和園だより

#### 静和園夏まつり開催

7月31日(木)、利用者と家族、地域のみなさんとの交流を目的に静和園夏まつりが、同園駐車場で開催されました。

この日は、日中30度を超える暑さとなりましたが、夕方には涼しさもできました。

今年もまつりを盛り上げようと中里横笛愛好会、スコップ三味線謎の美女軍団、健康ダンスベエ子ちゃん、中里三味線会、夢幻天舞、なにもささ保存会のみなさんが応援にかけつけ、それぞれ自慢の芸能を披露しました。

利用者たちも、声援を送ったり、手拍子をするなど盛り上がりました。

また、早食い勝負、ロシアンシュークリーム、じゃんけん大会など近所の子どもたちも参加し、激辛シュークリーム食べ、辛さに絶える参加者に会場には笑い声が響きました。



### 自然探索講座「梵珠山へ行くぞ!」参加者募集

☎ 中央公民館 ☎ (57)23341

中央公民館では秋のアウトドア活動として「自然探索講座梵珠山へ行くぞ!」を実施します。登山が初めての方でも気軽に歩ける安心なコースです。1人で、親子で、友達で、参加して紅葉を楽しみましょう。

■日程: 10月5日(日)  
中央公民館前集合(公民館バス)午前9時↓梵珠山駐車場到着↓梵珠山登山↓登頂(昼食)↓梵珠山下山↓中

中央公民館・午後3時到着予定  
※雨天等で悪天候の場合は中止になる場合があります。

■対象者: 小学生以上の町民

■募集人員: 30名

※ただし、募集人員に達した時点で締め切り。

■持ち物: 各自の昼食、飲み物、タオルなど

■申込期限: 9月26日(金)

■その他: 自然探索中の怪我等などについては教育委員会

で加入しているレクリエーション保険で対応いたします。(通院1,000円 入院1,500円)

### 西北地域男女共同参画まつりinつがる

☎ 役場総務課企画係 ☎ 162

東日本大震災を機に、避難所に男女両方の視点を取り入れた防災体制の必要性が認識されました。参画まぐ・ねつと、西北市町村男女共同参画ネットワーク市町村会議が主催で、安心して過ごすことのできる避難所づくりについて体験しながら学べるイベントを開催します。また西北管内の団体・個人の活動紹介や物販も行います。入場無料。

■日時: 9月14日(日)  
午前11時～午後4時  
柏「シヤコちゃんコート」

### 表示登記無料相談会

☎ 青森県土地家屋調査士会 ☎ 017(722)3178

不動産登記で土地の分筆登記、建物表題登記や土地の境界問題などの相談会を青森地方法務局と共催で実施します。  
■日時: 10月25日(土) 午前10時～3時30分  
■場所: 青森地方法務局五所

川原支局  
※電話相談も受け付けます。  
知っていますか? 建退共制度

☎ 建退共青森県支部 ☎ 017(732)6152

建退共制度は、事業主が労働者の働いた日数に応じて掛け金となる共催証紙を共催手帳に貼り、労働者が建設業界を退職するときに建退共が退職金を支払う制度です。  
■加入できる事業主  
建設業を営む人  
■対象となる労働者  
建設業の現場で働く人  
■掛金: 月額310円

### 119 消防&救急

#### 台風や集中豪雨に注意!

台風や低気圧、前線の影響で、大雨・暴風・高波・高潮が発生し、各地で毎年のように風水害による土砂崩れなどが発生しています。最近ではゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨による被害が多発しています。

- ①事前に付近の危険箇所を把握しておく。
- ②排水溝の点検(掃除)や土のうの準備をする。
- ③ラジオ・テレビ・防災無線などで情報収集する。
- ④日頃から避難場所や連絡方法などを家族と話し合う。



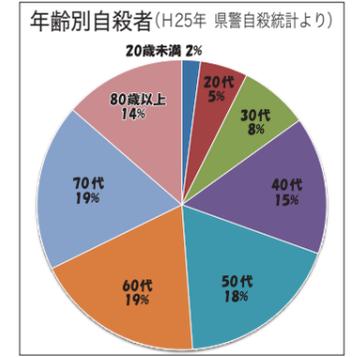
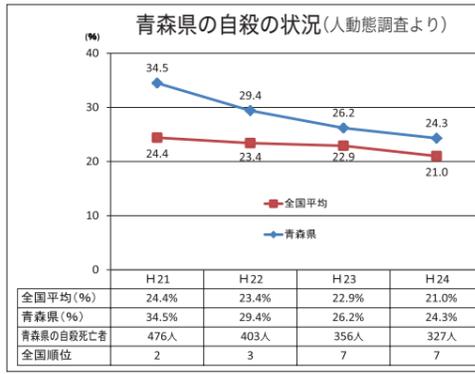
火事・救急・救助は119番/五消本部病院照会 ☎34-4999/中里消防署 ☎57-2370/小泊消防署 ☎64-2375

9月10日～16日は『自殺予防週間』です

W H O (世界保健機関) では、世界的な自殺予防対策の啓発を目的として、毎年9月10日を「世界自殺予防デー」、また日本では9月10～16日を「自殺予防週間」として、自殺についての正しい知識の普及や命の大切さを推進する期間としています。

■青森県の現状

全国の自殺死者数は、平成10年に3万人を超え、その後も高い水準で推移しています。青森県でも平成21年以降、徐々に



減少傾向にありますが、自殺死亡率は全国平均よりも高く、およそ毎日1人が亡くなっている深刻な状況が続いています。また年齢別に見みると、50～70代の人の自殺が多い傾向です。

■早期発見・治療が、大切な人の命を守ります

自殺は特別な人だけにおこるのではなく、病気や過労などの健康問題、多重債務、失業などの経済的な問題、いじめや家庭内不和など心の悩みによって追い込まれ、自殺以外の選択肢が考えられなくなった状態で見られます。

自殺者の多くは、何らかのサインを発しています。自分自身や身近な人の心の不調に気づいたとき、早期に対処することで悪化を防ぐことができます。

自分自身ができること

誰かに話してみよう  
悩みやストレス、眠れない：

そんなときは一人で抱え込まず、誰かに相談しましょう。思いを打ち明けてほっとしたり、自分一人では気づかない問題点を見つけることもあります。

身近な人ができること

「どうしたの?」と声をかけてみましょう  
心の病は本人が気づいていないこともあります。口数が減って元気がない、眠れない日が続いている、急にお酒の量が増えた、身近な人の変化に気づいたら、声をかけてみましょう。悩みを話してくれたときは、問題を一方的に指摘するのではなく、相手の話を傾け、相手を大切に思う気持ちを伝えましょう。

早期発見・早期治療が大切です

心の病や経済的な問題を抱えているときには、相談機関や医療機関への相談につなぎましょう。支援の輪を広げていくこと、問題を乗り越えるまで、焦らずに見守ることが大切です。

まちのイベントカレンダー

9月		10月	
16	火 14:30~16:30 運動教室(中央公民館)	1	水
17	水 13:00~14:00 健康相談(小泊保健センター) 15:00~16:00 健康相談(すくすくしたまえ館)	2	木
18	木	3	金
19	金	4	土
20	土	5	日 9:00~15:00 道の駅こどもり秋の味覚まつり
21	日	6	月 10:00~12:00 運動教室(中央公民館)
22	月	7	火
23	火	8	水
24	水	9	木
25	木 乳児健診(中里保健センター)	10	金 10:00~ 高齢者教室(中央公民館)
26	金	11	土
27	土	12	日
28	日 8:40~ 米塚義定杯争奪柔道大会(体育センター)	13	月
29	月 10:00~12:00 運動教室(中央公民館)	14	火 10:30~12:30 献血(中里高校前) 14:00~16:00 献血(小泊保健センター前) 14:30~16:30 運動教室(中央公民館)
30	火	15	水 10:00~ 北光寿大学室内運動会

予防接種に関するお知らせ

予防接種法の一部が改正され、平成26年10月1日より、水痘及び高齢者肺炎球菌の予防接種が定期予防接種に追加されます。

水痘

■対象者：生後12月～生後36月  
に至るまで(3歳の誕生日前日まで)の者  
■接種回数：2回  
■標準的な接種期間  
(初回)生後12月から生後15月  
に至るまでの間に1回接種  
(追加)初回接種終了後6月から12月に至るまでの間隔を  
おいて1回接種  
\*平成26年度に限り、生後60月  
に至るまでの間の者(3歳・4  
歳で、これまでに水痘ワク  
チンを接種したことがない者  
について、経過措置として1  
回接種を行うことができます。

水ぼうそう(水痘)

水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。主な症状は、発熱とかゆみを伴う全身性の発疹です。発疹は、赤く盛り上がった斑点状のものから3～4日で水泡になり、かさぶたとなって治ります。感染力の強い感染症の一つです。

高齢者肺炎球菌

高齢者にとって、肺炎は死亡率の高い恐ろしい疾患です。その中でも、肺炎球菌が一番多い原因菌と言われています。  
■対象者：(1)65歳の者、(2)60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する者  
\*経過措置として①各年度ごとに70・75・80・85・90・95・100歳の人(平成30年度まで)②100歳以上の(今年度のみ)を対象に予防接種を行うことができます。

接種費用

町より3千円を助成します。  
■その他：接種を希望する人は、保健センターにお申し込みください。予約票・説明書を送付します。過去に肺炎球菌の予防接種を受けた人は、定期接種の対象外となります。

戸籍の窓口

7月届出分

- 葛西 睦月(男・大) 薄市下
- 今 美心(女・晴希) 宮野沢
- 竹内 梨帆(女・光正) 宮野沢
- 秋田 来煌(男・圭太) 花丘町
- 永坂美結(女・貴雄) 折戸
- 永坂悠陽(男・章) 下前上

人のうごき

7月末現在(前月比)	
人口	12,289人(-5)
男	5,806人(-7)
女	6,483人(+2)
世帯数	5,185戸(+6)
出生	6 / 死亡 17
転入	17 / 転出 11

お悔やみ申し上げます

勝 亦 壮二郎(神奈川県)  
今 美 敦(下前上)

- 奈良 学(豊島)
- 鹿内 知佐香(田舎館村)
- 鈴木 悠太(上豊岡)
- 吉岡 杏菜(つがる市)
- 畑中 和晃(むつ市)
- 福士 真哉香(薄市上)
- 成田 佑(今泉下)
- 小野 綾子(下高根)
- 工藤 竜平(弘前市)
- 宮越 優花(尾別)
- 小野 寿文(深浦町)
- 米塚 智佳子(福浦)
- 安田 賀哉(鶴田町)
- 加藤 明日香(向町下)
- 角田 正幸(花丘町)
- 西川 枝里(愛知県)

- 三浦 泰静(向町上)
- 宮本 邦雄(深郷田下)
- 成田 シミエ(五林)
- 今 辰春(五林)
- 桑村 ツヨ(芦野)
- 秋元 正雄(薄市下)
- 野村 義美(派立上)
- 宮越 美よ(尾別)
- 武田 榮子(派立上)
- 加藤 ヨネ(向町上)
- 佐々木 高雄(若葉町)
- 橋本 アキエ(上町)
- 長谷川 博(若葉町)
- 佐藤 睦雄(小泊派立)

今年度20歳を迎えることになる新成人を祝おうと、8月15日(金)総合文化センター「パルナス」で、中泊町成人式が行われました。

式には対象者125人(男66人、女59人)中、84人(男45人、女39人)が、スーツや華やかなドレスで参加しました。中には、振袖や袴姿の新成人もいました。小中学校時代の恩師たちも駆けつけ、大人の仲間入りを祝いました。



振袖や袴姿の新成人



松谷和恵さん

第1部の式典では、馬場百合子教育委員長が「これからは、大人として自分で考え、自分を高めてほしい」とお祝いし激励しました。小野町長ら来賓祝辞に続いて、新成人を代表して、松谷和恵さん(深郷田下)が「自覚を持ち次世代を担う立派な大人になります」と誓いの言葉を述べました。

第2部では、恩師からのビデオレターの上映があり、「目標を持ってがんばれ」などとエールが送られました。つづいて、十和田市のシンガーソングライターの桜田マコトさんの記念ライブが行われ、手拍子や舞台上がって一緒に歌ったりと盛り上がっていました。

## 来場所に期待！

宝富士関を激励

### ふるさと納税

ありがとうございました

ふるさと納税 一万円  
石井英明様  
〈神奈川県川崎市〉

町では、ふるさと納税を随時お待ちしております。内容は町ホームページにも掲載しています。くわしくは、総務課までお問合せください。

問 役場総務課広報係 内162

当町出身で伊勢ヶ浜部屋所属の宝富士関(杉山大輔)の活躍を応援しようと、8月18日(月)総合文化センター「パルナス」で激励会が行われました。

会には後援会会員など約40人が駆けつけ、北海道釧路市で行われた巡業を終えて出席した宝富士関と交流しました。後援会会長の小野町長が「三役を目指して頑張ってください」とエールを送り、関取も「地元のみなさんの応援にはいつも感謝しています。来場所も期待に応えられるよう全力を尽くしたい」と抱負を述べました。

前回名古屋場所で9勝と勝ち越し、来場所に向けて勢いをつけた関取は番付が上位になることから、後援会のみなさんも「いよいよだな」と応援にも熱が入っていました。

